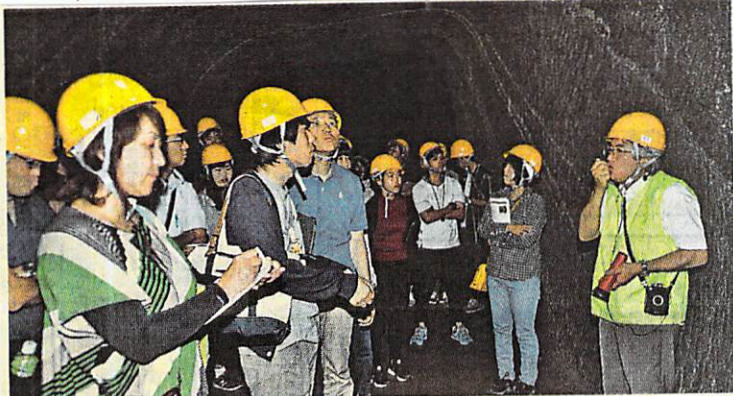


歴史遺産で地域学習 館山で千葉大生

千葉大学教育学部の竹内裕一ゼミは11日、館山市の館山海軍航空隊赤山地下壕(ごう)跡をはじめとした歴史遺産を現場視察した。学生や大学院生ら25人が参加。文化財の保存に努めるNPO法人安房文化遺産フォーラムの解説を聞き、平

和教育や歴史遺産を使ったまちづくりを学んだ。

同法人は地域学習を推進するため、筑波や中央中央学院、明星



戦争遺跡の館山海軍航空隊赤山地下壕(ごう)跡で、NPO安房文化遺産フォーラムの愛沢代表から解説を受ける千葉大学教育学部竹内ゼミの学生ら＝館山市

などの大学で教育を学ぶ学生に現地見学や解説を行っている。社会科学教育を専門とする竹内ゼミは、地域を調査する「巡検」を毎年実施しており、館山市内の歴史遺産を訪れるのは初めてとな

る。学生らは明治期の画家、青木繁が代表作「海の幸」を描いた小谷家住宅を修復

工事した「青木繁海の幸」記念館」や婦人保護長期入所施設「かにた婦人の村」を訪問。同法人の愛沢伸雄代表らから施設概要や歴史などの解説を受け、遺産を通じて地域の文化や生活を

知ること、教材として活用できることを体感していた。参加した千葉大学教育学部4年の宮本一輝さん(22)は「なかなか知れない戦争遺跡の説明を受けられて良かった。小学校の教員を目指しているので、遺跡をどう子どもたちに伝えていくか考えていきたい」と話した。

千葉日報 2017.6.13